



オオキチくん通信

2022年9月号

発行: NPO法人森からつづく道

URL: <http://morimichi.org/>

★上記HPからダウンロードできます

協力: 風早活性化協議会

オオキトンボの産卵(さんらん)が9月のおわりころから始まるよ! オスとメスがつながって産卵するんだけど、卵はどうやってできるのか、せつめいするね!

独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて作成しています。



オオキトンボの卵^{たまご}はどうやってできる?

9月のおわりころから、オオキトンボはため池に集まり、オスとメスが交尾(こうび)してから、産卵(さんらん)します。



①オスは、腹(はら)の先から精子(せいし)を出して、腹のつけねにある出っぺりの中にためます。

オスとメスのちがい



腹に出っぺり=副性器(ふくせいぎ)がある。

腹に出っぺりがなく、つるっとしている。

卵をかんさつしよう!

産卵(さんらん)にやってきたメスをつかまえると、腹の先に卵が見られます。



腹の先を水につけると、卵が水中に出されるようすを観察(かんさつ)できます。



(武智礼央)

まようこそ! カニカニランド

アカテガニ

【愛媛県準絶滅危惧(NT)】
(えひめけんじゅんぜつめつきぐ)



甲羅(こうら)の大きさ 3.5cmくらいまで	名前の由来 真っ赤なハサミ
形の特徴(とくちょう)	
甲羅はほぼ正方形で、色は赤、黒、黄など	
ハサミの特徴	
雄のハサミは強く曲がっているよ	
どこにいる?	
海岸や川辺の岩場、土手、石がき、森林など	
食べものは?	
植物・昆虫・小魚・動物の死がい・人が出す生ごみなど	

(若山勇太、写真:武智礼央、橋越清一)

あのムシは今?! [ツクツクボウシ]



成虫



幼虫

夏の終わりを告(つ)げるといわれているツクツクボウシ。9月後半(こうはん)まで見られます。セミはオスだけが鳴(な)き、メスをさそいます。

「ツクツクボーシ、ツクツクボーシ…、ウィヨース、ウィヨース…」をリズムカルにくり返しながら、鳴いているオスの近くにいるべつのオスがリズムに合わせて「ジュジュ」とあいづちを入れることがあります。

(若山勇太、写真:武智礼央)

ほにゅうるい (2)

みちかにいるぜ！ 里山のほにゅうるい

(Khashigoe)

家の近くでとんでるよ

オオキチくん通信
2022年9月号



勉強してる？

ニホンアナグマ



まだ子どもだよ

ニホンノウサギ



ちょっとはずかしいな

ホンダタヌキ



アブラコウモリ



ミカンやカキなども食べるよ

ハクビシン



写真：高田義隆氏

ニホンジカ



プヒブヒさいきんふえて問題になってるよ

イノシシ



ほくは子どもウリほうとよばれてるよ



さいきん里山にも行ってるぜ



里山(さとやま)には多くのほにゅうるいがあるよ。みんなは出合ったことがあるかい？ハクビシンやニホンジカ、ニホンザル、イノシシなどは、農作物(のうさくもつ)を食いあらし被害(ひがい)を出すこともあるんだ。ほくたちは人間とうまく共生(きょうせい)したいけど、なかなかむずかしいんだ。ほかに、ニホンイタチ、チョウセンイタチ(外来)、ムササビなどもいるよ。なかまが道路をわたって車にはねられて死(し)んでしまうこと(ロードキル)もあって、悲しいよ。注意(ちゅうい)しているんだけど、けっこうたいへんなんだ。

オオミスアオ・ チョウ・カメ

草花であそぼう！

クズの葉を葉脈(ようみゃく)にそって切り、うら返して触角(しよっかく)にして、2枚の葉ではねを作ると、オオミスアオがかんせい！イチヨウの葉の柄(え)をクルリと回して触角にするとチョウ。黄色くになるとモンキチョウに。ユキノシタの葉2まいでカメができました！



よこく 予告！ 風早トンボサミットIII

風早(かざはや)には、オオキトンボをはじめ、めずらしいトンボがいて、全国的(ぜんこくてき)に注目されています。生きもののふしぎや観察(かんさつ)のおもしろさのお話を聞いて、まもることも考えます。



- 【日時】れいわ4年10月30日(土)
- 10:00～トンボの産卵(さんらん)や生きもの観察(近くのため池)
- 13:00～こんちゅう写真家(しゃしんか)・新開孝(しんかいこう)さんのお話し
- トンボの調査(ちようさ)や、まもる活動(かつどう)のほうこく
- 【場所】北条ふるさと館1かい(松山市河野別府995)
- ★計画中(けいかくちゅう)のため、へんこうがあるかもしれません。くわしくは、オオキチくんつうしん10月号や森からつづく道HPでお知らせします！

今月の植物★ヘクソカズラ



ふつうに見られるつる植物(しよくぶつ)。葉や実をもむと、名前のとおりくさいにおいがありますが、害虫(がいちゆう)をよせ付けないため、花はきれいだから早乙女蔓(さおとめかずら)ともよばれます。

そうやったんかい！外来生物 ③1



大きさは3mmほど

ヘクソカズラゲンバイ

東南(とうなん)アジアから入ってきたとされるカメシのなかま。愛媛県では2006年に確認(かくにん)されました。ヘクソカズラの汁(しる)をすい、そのあとには写真(右)のように白いまだらもようになります。ガラス細工(ざいく)のような美しい虫です。(武智央央)